

医療連携
だより渡航・ワクチン外来を
開設しました。

contents

- ・循環器内科の紹介
- ・地域連携研修会の報告
- ・病院入口の施錠時間変更のご案内

NEW

2016年11月より
渡航・ワクチン外来 開設

連携医療機関の皆様、いつも大変お世話になっております。

総合診療科・感染症科開設から1年半が経過しました。当科は「どこに相談したらよいかわからない」「症状が未分化あるいはたくさんありすぎて難しい」「診断がつかない」患者さんを診させていただき総合診療と、不明熱から熱帯感染症までカバーする感染症診療を軸にしております。

このたび【渡航・ワクチン外来】を開設させていただきましたので、概要をご報告させていただきます。渡航医学は一つの学問体系であり、副部長の三河は国際学会であるInternational Society of Travel MedicineのCertificate of Travel Health (ISTM-CTH)を取得しております。

この外来は、

① 渡航にかかわる健康問題

- ・海外に行くのにワクチンを打っておきたい方
- ・抗マラリア薬、下痢症の薬、高山病予防薬などがほしい方
- ・留学時の健康診断書／ワクチン診断書が必要な方
- ・仕事で海外赴任する前に健康アドバイス・ワクチン接種してほしい方

② ワクチンにかかわること

- ・小さいころにワクチンを打ち忘れた
- ・麻疹や風疹などに免疫力があるか知りたい
- ・骨髄移植後、脾臓摘出後ワクチン希望
- ・以前ワクチンを打って副反応があったが、打てるかどうか相談したい

総合診療科・感染症科
副部長

三河 貴裕

渡航・
ワクチン
外来

①②の方が対象となります。当外来は基本的に自費診療です
(一部B型肝炎ワクチンや破傷風ワクチンなどに保険適応があります)。

初 診 ● 月～金／11時～12時／初診時相談料:3,056円

状況の確認、ワクチンスケジュールの決定や抗体検査の必要性を
検討します。初診時にワクチンは打ちません。

再 診 ● 月～金／9時～11時／再診時相談料:788円

それぞれの医師予約枠にて診察。スケジュールに沿ったワクチン
接種、あるいは処方(それぞれ実費)

接種可能なワクチン一覧

メファキン(メフロキン)	マラリア予防薬
マラロン(アトバコンプログアニル)	マラリア予防薬
ビブラマイシン(ドキシサイクリン)	マラリア予防薬
ジスロマック(アジスロマイシン)	旅行者下痢症対策
クラビット(レボフロキサシン)	旅行者下痢症対策
ロベミン(ロベラミド)	旅行者下痢症対策
ダイアモックス(アセタゾラミド)	高山病対策
デカドロン(デキサメタゾン)	高山病対策
A型肝炎ワクチン	エイムゲン
B型肝炎ワクチン	ビームゲン10μg
B型肝炎ワクチン	ビームゲン5μg
インフルエンザワクチン	
破傷風トキソイド	
狂犬病ワクチン	
日本脳炎ワクチン	
4種混合ワクチン(DPT-IPV)	
3種混合ワクチン(DPT)	
2種混合ワクチン(DT)	
麻疹/風疹混合ワクチン(MR)	
麻疹ワクチン	
風疹ワクチン	
水痘ワクチン	
ムンプスワクチン	
HPVワクチン	
13価肺炎球菌ワクチン(プレベナー)	
23価肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)	
Hibワクチン(アクトヒブ)	
不活化ポリオワクチン(IPV)	

海外に渡航される方は、渡航6か月前からの受診をお勧めします(ワクチンスケジュールから)
あれば母子手帳、詳細な旅行計画が必要です。

当科では国内で上梓されているワクチンをすべて扱いますので、基本ワクチンは打てるけれど、
狂犬病ワクチンは・・・とかワクチンだけではなく、渡航アドバイスも・・・というニーズがありま
したら是非ご紹介いただければと存じます。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1
TEL.055-253-7111/FAX. (直通) 055-253-2903

病状に合わせた適切な治療を幅広く

不整脈治療は進歩しています



教育研修センター
統括部長・循環器内科

梅谷 健

循環器内科は急性期／慢性期の冠動脈治療、末梢血管のステント治療、不整脈、心不全、高血圧、動脈硬化に対する予防医療と幅広い診療領域をカバーしています。

今回は中でも、当科での最近の不整脈治療のトピックスをご紹介します。

CHECK 2

植え込み型除細動器（ICD） ／血管内にリードを入れないICD（S-ICD）

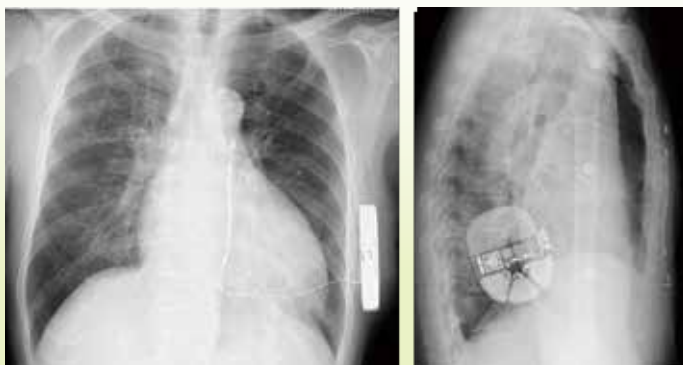
Implantable Cardioverter Defibrillator ／ Subcutaneous ICD

致死的心室性不整脈による心臓突然死治療のために植え込み型除細動器治療をおこなってきました。通常のpacemakerに比べて、ICDは本体が大きく、心臓に留置するリードも太く、リード断線、device感染、三尖弁逆流などのリード関連のトラブルが問題となってきました。これらの問題を解決すべく、完全皮下植え込み型 ICD（S-ICD）が本邦でも使用できるようになりました。先日、当院でも1例目のS-ICD治療を行いました。本体は左側胸、リードは前胸部の皮下に移植します（図4）。心臓の中、血管内にはリードを挿入しないので、植え込み時の心臓合併症の危険性が低く、経年的に感染などの問題があれば抜去も可能です。ペースング、両室ペースングが必要な場合は適応ではありません。症例の選択基準はありますが、治療法の新しい選択肢が増えたことで、病状に合わせた適切な治療を幅広く行えます。

地域の中核病院として、最新の医療を適切に提供できるように、speedy, safety, high qualityなチーム医療を行っています。

図4：S-ICD治療後の胸部写真

左脇の皮下にS-ICD本体、皮下トンネルを通して、胸骨下に除細動コイルを挿入しています。心臓内、血管内へのリード操作はしていません。



カテーテルアブレーション

Catheter ablation treatment

頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療(カテーテルを使用しての心筋焼灼術)は、日常臨床において薬物療法を超える勢いで進歩してきました。通常型心房粗動、発作性上室性頻拍、症状を有するWPW症候群では第1選択で治療を行なっています。最近特に症例数が増えているのは、心房細動(発作性および遷延性)に対するアブレーション治療です(図1)。持続期間3年以内、心エコーでの左房径<50mmの症例は積極的に治療を行っています。2割弱の症例は2回目のsessionを行っています(図2)。

2012年以降の当院のアブレーション件数

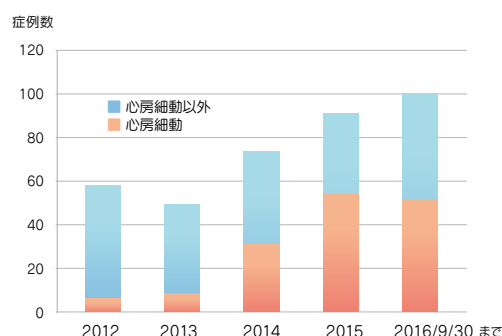


図1：当院でのアブレーション件数
症例は年々増加しています。

心房細動に対する
アブレーション治療Ablation treatment
for atrial fibrillation

技術と道具の進歩により安全性、成功率を高めてきました。陽圧呼吸(BiPAP)下の静脈麻酔で3時間前後の施術時間です。入院は5日間前後で行っております。事前に撮影したCTと当日のカテーテル位置を組み合わせ3次元の画像をもとに焼灼部位を決め、十分な焼灼を安全に行うためにカテーテル先端の圧力と出力をモニターしながら治療を行っています(図3)。

当院の心房細動ablation成績

2年event free率

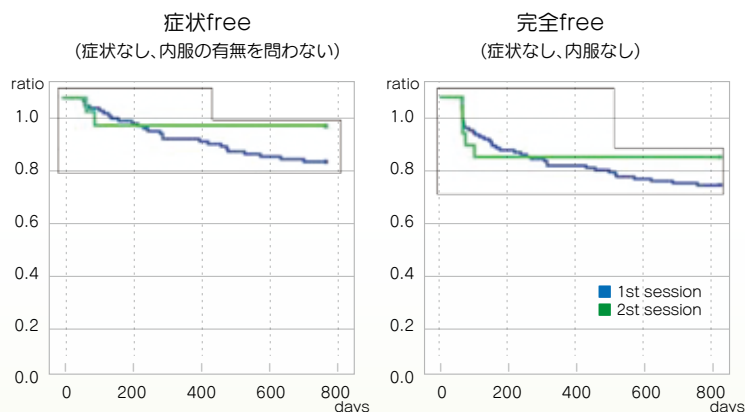


図2：心房細動アブレーションを行った場合の成績

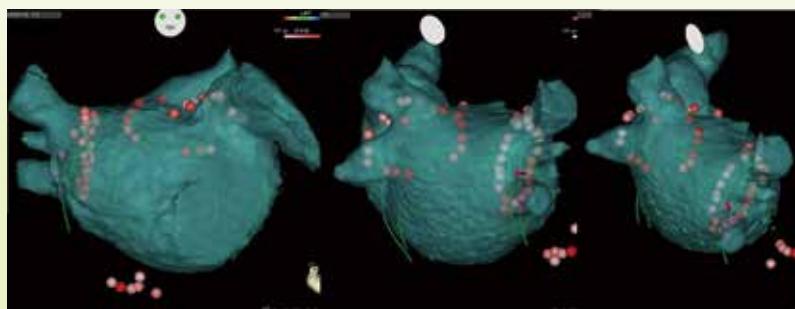


図3：左心房の3-D CT画像

左から、正面、右後方、右後上方から見た図を示します。両側肺静脈入口部に1点ずつ通電をし、円状に隔離をしています。十分な焼灼が加わると赤く色が付きます。右房の一部にも通電を追加しています。

2016
地域連携
研修会
H28年度

7.7 THU

腰痛診療の実際

平成28年7月7日(木)、当院整形外科の千野孔三医師が、「腰痛診療の実際」と題して講演しました。院外より20名の医師、看護師、相談員等が出席しました。

実際にモデルの方に実演いただき、腰痛の診断手順や検査方法などを紹介し、症例検討を通して様々な診察方法の紹介もおこないました。参加者からは、症例・実演を交えた講演でわかりやすかったと感想を頂きました。



地域連携研修会が
開催されました。

8.17 WED

前立腺がんに対するロボット手術

平成28年8月17日(水)、当院泌尿器科の横山仁医師が「前立腺がんに対するロボット手術」と題して講演しました。夏休み期間中のこともあり、院外からは医師等6名の参加でしたが、多くの質問等がでて有意義な会になりました。

「前立腺がんのロボット手術の内容がくわしくわかった」「手術の前後も含めて治療の流れが理解できた」等の感想を頂きました。



当院は院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的に開催していきたいと考えております。その都度ご案内させていただきますので是非ご参加ください。

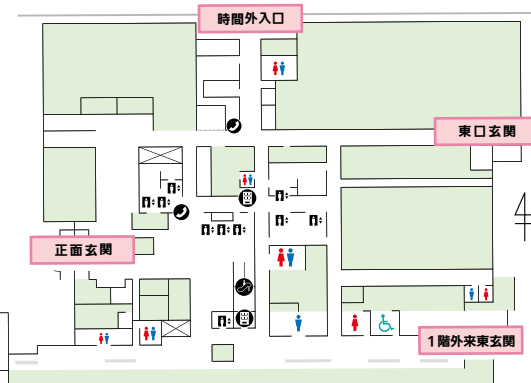
お知らせ

病院入口の開錠時間を短縮します

病院内の防犯対策を強化するため、各玄関の開錠時間を次のとおりとさせていただきます。ご不便をおかけしますがなにとぞご理解をお願いいたします。

平日	正面玄関	7:00~20:15
	東口玄関	7:00~19:00
	1階外来東玄関	7:00~17:00
土曜日 祝日	正面玄関	7:00~20:15
	東口玄関、1階外来東玄関	終日施錠
日曜日	正面玄関	7:00~13:00
	東口玄関、1階外来東玄関	終日施錠

時間外は、病院北側「時間外入口」より守衛室に声を掛けてからお入りください。



紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

お電話前に準備してください

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

3

受診当日

ご予約30分前に1番の初診窓口にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)